第79回国民体育大会・第24回全国障害者スポーツ大会 滋賀県開催準備委員会 第4回常任委員会 結果概要

1 日 時

平成28年8月3日(水)13:30~14:05

2 場 所

琵琶湖ホテル3階「瑠璃」

3 出欠状況

総数82名(委員長1名、副委員長9名、常任委員72名)

出 席 71名(本人出席57名、代理出席14名)

欠 席 11名

4 議事概要

(1)審議事項

① 第1号議案 第79回国民体育大会・第24回全国障害者スポーツ大会 開催準備総合計画改正(案)

事務局から説明。質疑応答なし。

② 第2号議案 第79回国民体育大会会場地市町第二次内定(案)

事務局から説明。次の質疑応答の後、賛成多数で原案どおり議決。

○常任委員

それぞれの種目の割当てについては、当市を含めて異論はないが、まだ存在しない会場に割り当てられている市町を含めて、まだ設計も出来ていない施設に会場が割り当てられている。この場で第二次内定を決めるなら、計画している施設の進捗状況を開示してもらいたい。

併せて、プールについては市町への支援を示しているが、先日開催された臨時市長 会では手を挙げた市はなかった。どうするつもりか。

もう一つ気になるのは、総事業費がまだ開示されていないということである。開催 経費については、先催県とさほど変わらないであろうが、施設整備費をどのように見 積もっているのか。滋賀県は先のびわこ国体以降、ほとんど施設整備をしていないの で、これからどうなるのか。施設整備状況の進展と施設整備費について、情報を提供 願いたい。

○事務局

今後整備する施設の、県、市・町も含めた全体の見通しであるが、県立施設である主会場については現在、公園整備の基本設計中である。陸上競技場の規模等を含め、全体経費を9月中に取りまとめ、公園の実施設計、競技場の基本設計に入り、来年度の後半から解体工事を進め、3年間で建築工事をして、開催の2年前の完成予定である。用地買収もあるため地元の彦根市に協力いただき、順次進めてまいりたい。

それ以外の県立社会体育施設についても、新県立体育館をびわこ文化公園都市に設置するということについて、県議会で予算の議決をいただき、今後各方面から意見を伺いながら、整備内容を検討した上で着実に整備を進めてまいりたい。

その他の施設についても、国体開催を前提とて、必要な施設整備を行っていく。プールについては彦根の主会場整備に伴い、県立のスイミングセンターがなくなるため、その機能を果たせるプールを整備する必要がある。市町の主体的な整備に対して、一定の県の支援ということも含めて、これから検討してまいりたい。

全体の事業費については、国体と全国障害者スポーツ大会の開催経費は、先催県平均で $60\sim70$ 億円、競技力向上対策費については $30\sim35$ 億円である。それ以外に本県独自の事情ということで会場地の整備がある。主会場の整備費については、昨年度の段階で約 $180\sim200$ 億円程度という説明をした。主会場以外の県立社会体育施設の整備は、かなり幅があるため、主会場の整備費用と社会体育施設の整備内容が明らかになる段階で、ハードも含めた国体全体に要する経費について、説明できるよう進めてまいりたい。

○常任委員

情報が更新されていない。主会場については国土交通省の社会資本整備総合交付金を使うとのことだが、県がどんどん使うのではなく、市町も施設整備に使いたいので、ある程度見通しを立てていただきたい。やはり、総事業費もキャップをしておくべき。誰かにリスクを背負ってもらうということを明確にして、着実に進めてもらいたい。

○委員長

承る。

○副委員長

会場地の選定については現在の案で良いが、その上で要望を申し上げたい。

まず、新県立体育館は交通の利便性が悪いのではないか。現在の県立体育館の利用者の55~60%は小中高生である。新体育館も小中高生の利用が中心になると考えると、大学生の通学のピストンバスの便数を増やすだけでは十分ではない。車のない

利用者が便利に使えるように、検討をお願いしたい。

もう1点は中身。体育施設としての機能は十分であるが、国体が終わった後もずっと利用していこうとすると、もっと多機能的な利用ができるような、いわゆるアリーナのような建物が必要ではないか。今県内で一番たくさんの人が集まれるのは、びわ湖ホールで1800人、プリンスホテルのコンベンションホール淡海で2000人ぐらいが、立食でも精いっぱいである。従って、団体の大会を滋賀県でやろうとすると、わざわざ他府県に行かないとできない。大人数が収容できる、スポーツイベントだけではなく文化芸術等のイベントにも利用できるような造りの施設にしていただきたい。御検討いただきたい。

○委員長

御要望・御提案として副会長からの要望は受け承る。

交通アクセスについては、びわこ文化公園都市の大きな課題である。今回の新県立 体育館整備は、現在、県と関係市とで公共交通網整備計画をつくる検討委員会を立ち 上げて検討しているところであり、鋭意進めてまいりたい。

③ 第3号議案 第79回国民体育大会・第24回全国障害者スポーツ大会 広報基本計画(案)

事務局から説明。質疑応答なし。

以上